

大分県医療審議会

(日時)令和7年2月14日(金)18時～

(場所)大分県医師会館 6階研修室Ⅱ



審議事項

(1) 地域救命救急センターの指定について



これまでの経緯等

- R6. 12. 16 第1回救急医療対策協議会開催
センター指定の方向性について全委員賛同
- R7. 1. 21 大分県知事から中津市民病院管理者あて
地域救命救急センターの設置を要請。
- R7. 1. 23 中津市民病院から大分県知事へ設置受諾の回答。
- R7. 1. 31 中津市民病院からセンター設置に係る資料提出
- R7. 2. 6 第2回救急医療対策協議会開催
センター指定について全委員賛同
- R7. 2. 14 (本日) 大分県医療審議会開催
センター指定について審議



目次

- 1 三次救急医療体制の現状
- 2 中津市民病院及び北部医療圏の意向
- 3 新たな地域救命救急センター指定に係る検討
- 4 中津市民病院の地域救命救急センター指定について



1 三次救急医療体制の現状

- 本県では、4ヶ所の救命救急センター（うち1ヶ所は高度救命救急センター）が整備され、重篤患者に対する高度な専門的医療が提供されている。

（図表1）県内の救命救急センターの設置状況

施設名	種別	指定年度	病床数
大分大学医学部附属病院	高度救命救急センター	H24年度	24床
大分市医師会立アルメイダ病院	救命救急センター	S53年度	21床
大分県立病院		H20年度	12床*
国家公務員共済組合連合会新別府病院		H20年度	16床*

*当時の要件により指定

（出典）厚生労働省「救急医療提供体制の現況調べ（令和3年度実績）」を基に大分県作成



2 中津市民病院及び北部医療圏の意向

- 中津市民病院は、令和5年3月に救急専用病棟を、令和6年4月に救急科をそれぞれ開設し、救急患者への対応を強化している。また、同院としても、地域における救急医療提供体制をさらに強化するため、地域救命救急センターの設置を目指している。
- 10/11に開催した令和6年度第1回北部地域医療構想調整会議においても、中津市民病院が北部医療圏で高度急性期機能の役割を果たすことについて期待する意見が出されている。



3 新たな地域救命救急センター指定に係る検討

(1) 地域救命救急センターとは

- 最寄りの救命救急センターへのアクセスに時間を要する地域(概ね60分以上)において整備される、専用病床が10床以上20床未満の救命救急センターのこと。
- 全国で19施設(九州では5施設・大分県にはなし)が指定されている。(令和6年8月現在)
- なお、第8次大分県医療計画(令和6年3月)では、「地域などにおける新たな救命救急センターの設置についても検討」するとしている。

(図表3-(1))(再掲)県内の救命救急センターの設置状況

施設名	種別	指定年度	病床数
大分大学医学部附属病院	高度救命救急センター	H24年度	24床
大分市医師会立アルメイダ病院	救命救急センター	S53年度	21床
大分県立病院		H20年度	12床*
国家公務員共済組合連合会新別府病院		H20年度	16床*

*当時の要件により指定

(出典)厚生労働省「救急医療提供体制の現況調べ(令和3年度実績)」を基に大分県作成



3 新たな地域救命救急センター指定に係る検討

(2) 各医療圏における救急患者の受け入れ等の状況

- 救急医療機関が比較的充実している東部・中部医療圏は、人口が多く、救急患者の受入人数や救急車による搬送人数も多い。なお、これらの医療圏に三次救急医療機関が集中しているなど、他の医療圏からの患者の受け入れも多いと考えられる。
- これらの地域に次いで、北部医療圏の人口・救急患者の受入人数等が多くなっている。

(図表3-(2)) 令和3年度救急受入の状況(医療圏別)

医療圏	救急医療圏	人口	二次・三次 救急医療機関数 (救急告示病院含む)	年間救急患者受入人数		
				救急車による 搬送人数	人口10万人当り 救急車搬送人数	
東部	東国東	27,057人	2病院	4,491人	818人	3,023人
	別杵速見	167,292人	11病院	23,960人	9,268人	5,540人
	小計	194,349人	13病院	28,451人	10,086人	5,190人
中部	大分	505,587人	19病院	66,083人	17,601人	3,481人
	臼津	50,389人	2病院	3,969人	1,348人	2,675人
	小計	555,976人	21病院	70,052人	18,949人	3,408人
南部	佐伯	64,943人	6病院	7,911人	2,654人	4,087人
豊肥	豊後大野	32,692人	3病院	6,512人	1,353人	4,139人
	竹田	19,610人	2病院	2,825人	838人	4,273人
	小計	52,302人	5病院	9,337人	2,191人	4,189人
西部	日田玖珠	83,237人	4病院	6,991人	2,618人	3,145人
北部	中津	81,857人	9病院	12,810人	5,120人	6,255人
	宇佐豊後高田	73,264人	3病院	6,124人	1,992人	2,719人
	小計	155,121人	12病院	18,934人	7,112人	4,585人
合計		1,105,928人	61病院	141,676人	43,610人	3,943人

(出典)
大分県調査「救急搬送受入
状況及び医師の勤務実態
等に関する調査」(令和5年
2月照会)



3 新たな地域救命救急センター指定に係る検討

(3) 高度急性期病床の充足状況

- 令和5年病床機能報告と大分県地域医療構想(平成28年6月)における令和7年必要病床数を医療圏毎に比較すると、高度急性期病床は北部医療圏が最も不足している。

(図表3-(3))令和5年病床機能報告結果(高度急性期病床)

医療圏	①令和7年必要病床数※ (大分県地域医療構想)	②令和5年病床機能報告 に基づく病床数	差し引き(床) (②-①)
東部	265床	341床	76
中部	759床	897床	138
南部	60床	0床	△60
豊肥	33床	0床	△33
西部	55床	8床	△47
北部	123床	9床	<u>△114</u>
合計	1,295床	1,255床	△40

※令和7年必要病床数は、他の圏域からの流出入も考慮の上推計している。

以上を踏まえると、北部医療圏における新たな地域救命救急センター設置の必要性は高いと考えられる



3 新たな地域救命救急センター指定に係る検討

(4) 北部医療圏における救急医療の状況

- 北部医療圏では、圏内の救急医療機関の救急車による患者受入について、中津市立中津市民病院がその4割以上を占めるなど、地域の救急医療の中核を担っている
- このうち中津救急医療圏では、一次救急や救急搬送の対応は原則として「一般救急対応救急告示病院」や「専門疾患対応救急告示病院」が対応し、中津市民病院は重症患者の対応に集中する「地域完結型医療」に取り組んでいる。

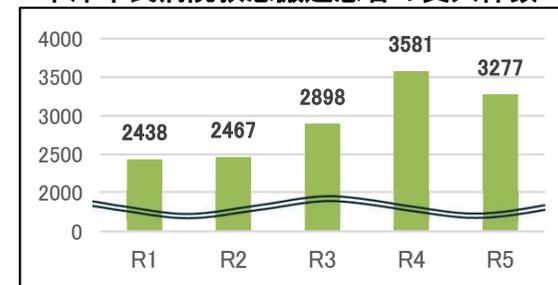
(図表3-(4)-1) 北部医療圏の救急医療機関への救急車による搬送人数

救急医療圏	医療機関名	救急車による搬送人数	医療圏での受入割合
中津	中津市民病院	2,920人	41.1%
	A病院	515人	7.3%
	B病院	419人	5.9%
	C病院	604人	8.5%
	D病院	496人	7.0%
	E病院	96人	1.4%
	F病院	25人	0.4%
	G病院	19人	0.3%
	H病院	26人	0.4%
	小計	5,120人	72.1%

救急医療圏	医療機関名	救急車による搬送人数	医療圏での受入割合
宇佐 豊後高田	I病院	606人	8.5%
	J病院	587人	8.3%
	K病院	789人	11.1%
	小計	1,982人	27.9%
合計		7,102人	37.5%

(出典) 大分県調査「救急搬送受入状況及び医師の勤務実態等に関する調査」
(令和5年2月照会)

(図表3-(4)-2) 中津市民病院救急搬送患者の受入件数





4 中津市民病院の地域救命救急センター指定について

大分県救急医療対策協議会における協議結果

1 開催状況

第1回 令和6年12月16日（月）

指定の方向性について全委員が賛同

第2回 令和7年2月6日（木）…中津市民病院（院長）出席

指定について全委員が賛同

2 委員からの主なご意見

- ◆ 地域救命救急センターの責任者（センター長）については、救急指導医等の配置に努められたい。
- ◆ 診療報酬改定により、救命救急入院料1の算定要件が厳しくなったので、医師・看護師の十分な配置に努められたい。

3 今後のスケジュール（医療審議会で承認された場合）

- ◆ R7.3月中 県内部手続きを経て指定
- ◆ R7.4.1 地域救命救急センター設置予定